



まちスポ飛騨高山



ふるさと けいし
古里 圭史 さん

グラスルーツアカウンティング
ファーム代表。公認会計士・税理士、
慶應義塾大学大学院政策・
メディア研究科 特任准教授

飛騨コミュニティ財団（仮称） 事業パートナー紹介！ 設立事業

2021年度からまちスポでは、飛騨地域でのコミュニティ財団（仮称）の設立を目指す活動を開始しました。本事業に協力いただく古里圭史さんを今号ではご紹介します！

1979年生まれ。岐阜県飛騨市出身。早稲田大学卒業。株式会社スクウェア・エニックスを経てデロイトトーマツグループの監査法人に入所。2012年10月に地元、岐阜県飛騨・高山にUターンし、地域密着のコミュニティバンクである飛騨信用組合に入組。同組合において「育てる金融構想」を掲げ、クラウドファンディングや地域キャピタル会社の設立など、新しい金融手法を

活用した資金供給の仕組み構築に注力。2017年には電子地域通貨「さるぼぼコイン」を手掛ける。2021年6月に独立。飛騨コミュニティ財団（仮称）設立事業では、資金管理・経理処理等の体制整備から、コミュニティ財団設立に向けたスタッフ教育等プロジェクトマネジメント全般を担う。

※飛騨コミュニティ財団（仮称）設立事業については
会報90号をご覧ください。

<http://machispo.org/kaihou90/>



～お金の考え方編～

まちスポ飛騨高山

助成金申請 へっちゃら講座

「助成金を受けてどう変わるの？」「予算を立てるのが苦手」「プレゼン力を付けたい」など考えているNPO団体向けに助成金申請のための講座を開催。第2回目となる「お金の考え方編」は、会計の基本をじっくり学ぶことからスタート！その後、各団体が申請したい事業内容に合わせて、実際に予算書の作成を行いました。この講座をきっかけに、助成金申請が「へっちゃら」になることを願い、スタッフ一同全力でサポートします。次回10月11日

はいよいよ最終回。プレゼン力UPを目指した「伝え方編」を実施します。



開催日：2021年9月29日（水）
講 師：NPO法人ぎふNPOセンター
専務理事 原 美智子氏
参加団体：6団体

まちスポの窓



食欲の秋！！
本間



健康のため、
青汁飲み始めました！
野首



稲刈り時期のアレルギー対策は、
アロマで対応中です。
カスティール

9月のホームページ更新

<http://machispo.org>



●まちスポ会報誌更新状況
<http://machispo.org/kaihou/>

●交流スペースイベント変更のお知らせ
<http://machispo.org/hennkouwh/>

●へっちゃら講座～お金の考え方編～
<http://machispo.org/online/>

●ワーキングホリデーin飛騨高山
中止のお知らせ
<http://machispo.org/wh1/>

●10月イベント情報
<http://machispo.org/202110-2/>



さるぼぼコイン
クレジットでの
賛助会員入会が
可能になりました！

詳しくは
こちらを
ご覧ください！
<http://machispo.org/donation>



活動を応援してくださる方を
募集しています。

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店（普）0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店（普）0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

♡ 個人年会費 1口 ￥3,000
♡ 法人年会費 1口 ￥5,000

まちスポとやま

学生食堂



フードドライブ

フードドライブとは、家庭や事業所で余っている食品を持ち寄り、福祉施設や必要としている人のもとへ届ける活動です。

開催日：2021年9月8日（水）
場所：総曲輪レガートスクエア 2Fギャザリングスペース
主催：コミュニティカフェ空満（からfull）
共催：認定NPO法人まちづくりスポット・まちスポとやま
利用者：51人

富山市のコミュニティカフェ空満（からfull）は、毎月8日に総曲輪レガートスクエア内でフードドライブを実施しています。

今回集められた食材の一部は、県外に進学している学生にも送られます。帰省して家族や友人と会ったり食事したりすることが憚られる今、この活動によって地元と繋がりを持てるのは貴重な機会ではないでしょうか。

また、普段子ども食堂へ足を運ぶことのない、中高生や大学生に来てもらうために、前回8月開催時にフードドライブで集まった食材を使い、手作りハンバーグ弁当の無料配布を行う【学生食堂】も開催されました。お弁当をもらって嬉しそうにしている学生の笑顔が印象的で、心が温かくなりました。次回の開催予定は10月8日（金）です。

（インターン生 中島李果）

たかし
隆の

vol.
02

探訪



総曲輪レガートスクエアの中心に2Fギャザリングスペースがあります。「和室」「バル」「ギャラリー」の3棟が、独立した形でそれぞれが存在を主張しています。

私が初めてこの場所に案内されたとき、三つの建物がなぜ繋がっていないのだろう、と思いました。トイレも離れたところにあります。雨が降っていれば尚更、繋がっている有難味が分かります。しかしギャザリングスペースは、この街のデザインコンセプトとしては小宇宙であり、三棟はお隣さん同士なのです。また貫通通路は、制限のない自由空間です。また「和室」と「バル」の間には、間口11尺、奥行11尺、高さ1尺5寸の舞台があり、舞台奥にはホリゾン代わりの高さ6尺のオブジェが鎮座しています。この空間を使わないのはもったいない。

まちスポとやま



飛び出せ★元気市民 とやま



すまほきょうしつ

かなお とみこ
金尾 登美子さん

この達成感が
たまらないんです

「まちなかオンライン散策」の様子▼



まちなかサロンでは月2回、地域のシニアが集まって、スマホやオンラインについて学ぶ「すまほきょうしつ」が開催されています。ネットを使った新たな交流方法を学ぶ意欲的な女性たち。その一人、金尾さんに参加されたきっかけなどを伺いました。

「すまほきょうしつ」に参加して

「以前は、ガラケーを使用していたので電話とメールを使うぐらいだった。」という金尾さん。「ガラケーが使えなくなると聞いてスマホに替えたのですが、スマホには機能がたくさんあり、調べるほど専門用語が出てきて、そこでつまづいてしまっ。」機能などを詳しく知って、もっとスマホを活用したい!と思っても、教えてくれる家族も近くにおらず、困っていたと言います。そんなときに友人が教えてくれた「すまほきょうしつ」を知り、今年の春から参加するようになりました。

「ここでは、先生やグループのメンバーに、気軽に楽しく機能や操作方法を聞くことができ、大変助かっています。グループのメンバー間で、知っている操作方法を教え合うこともできます。先生は、機種の違いや新しい古いに関わらず、持っているスマホで出来ることを一緒に考えてくれるので、とてもありがたいです。」

生活に密着しているスマホ

教室に参加したおかげで、防災アプリや天気予報、道端に咲いている花の名前の調べ方など、生活に役立つ機能を知った金尾さん。スマホを使いこなせるようになると益々おもしろくなってきました。

「スマホには、本当に生活に密着した便利な機能がたくさんあると思います。昔は、お姑さんに聞いていた料理のレシピが、今ならスマホでいつでも調べることが出来るのですから。」

ついにオンライン会議システムに参加

「初めて教室に参加したとき、教室ではオンライン会議システムZoomの使い方を勉



強していました。よくテレビで見ますが、自分には関係のない世界で、こんな難しいこと私には絶対無理だと思っていました。でも、先生のおっしゃる通り操作をするだけで、帰る頃にはその場にいる人同士でZoomでのやり取りが出来るようになっていたのです。」その後もZoomについて学びを深めていった金尾さん。3回ほど練習すると、スムーズに使えるまでに。この経験が、「私だって、やれば何だってできるじゃない!」と大きな自信につながったと言います。

その後、初めて自宅からZoomを使ったオンライン会議に参加することになりました。「始まるのを待って事前に聞いた番号を入れると、会議をしている様子が出てきました。自分の意見を発信し、無事に参加することが出来ました。遠い世界の話だと思っていたオンライン会議に自分が参加していたのです。」

また、コロナ禍で外出できない福祉施設の利用者に、散策気分を味わってもらおうと、まち歩きをしながら、その様子を発信する「まちなかオンライン散策」では、ジンバルを持ち、富山市の商店街から散策の様子を発信した金尾さんたち。その取り組みは新聞でも紹介され、オンラインを活用するシニア世代の姿に勇気をもらう人も多かったのではないのでしょうか。

「この達成感がたまらないんです!」と話す金尾さん。毎月2回の講座でどんどん学びを深めています。

ご連絡はこちらまで

▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスポ飛騨高山内)
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま

〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

活動のきっかけ スーパーマーケットのレジアルバイトをしていた際に、お客様とお話していると、健康や生活に不安を抱えた方達が多くおられました。その方たちに何かをしてあげたいけど、どうしたらいいのかわからない。そんな時に、富山市が目指すウェルビーイングの考え方を知り、もっと知りたい!そしてここで働く方たちの考え方や働き方を知りたい!と思い、エントリーしました。

活動を経ての感想 まちスポとやまの実際の業務を体験させていただき、一つひとつの小さな連絡や更新作業の大切さを知ると同時に、NPO法人が存在する意義や社会人として働くことの大変さと楽しさを学んだインターンでした。そして、働いておられる方やまちスポの活動についてもっと知りたいと感じたので今後も関わっていけたら嬉しいです。



インターン
1

なかしま りか
中島李果

富山大学 経済学部 経済学科 大学3年生
出身地: 富山県射水市
活動期間: 2021年9月8日(水)~16日(木)

インターンシップの受け入れ 人材育成及び研修に係る事業

地域との繋がりがづくりや地域づくりを担う若者の育成としてインターンシップの受け入れを行っています。8月に続き9月も3名の学生を受け入れしました。

活動のきっかけ NPOの活動に興味があり、まちスポが生きがいづくりや、居場所を提供していることを知り、活動を通して新たな学びを得たと思ったためエントリーしました。

活動を経ての感想 この7日間を通して、私はオンラインサポーターの活動が印象に残っています。

IT化が進む中、Zoomなどを使うことが増えている現在、それらを使う人を増やすためのサポートを行うことの大切さ、自分自身もその知識を身に付けておく必要があると実感しました。シニアの方向けの講座に参加した際には、シニアの方が自分たちらしく、どんな状況でも生活を送っていけるようにサポートしていくことの必要性を感じました。

これらの学びを今後の大学生活で活かし、自分にできることは何か考え、行っていきたいと思います。



インターン
2

たきた みゆ
瀧田望由

富山国際大学 子ども育成学部
子ども育成学科 大学3年生
出身地: 富山県南砺市
活動期間: 2021年9月3日(金)、4日(土)、6日(月)、
22日(水)、23日(木)、25日(土)、26日(日)

活動のきっかけ NPOの活動に興味があり、特に市民の方々の健康をサポートする活動に携わりたいと思い、エントリーしました。

活動を経ての感想 この6日間のインターンシップを通して色々な経験をさせていただき、まちスポは企業や行政では担えなかった地域住民の力になる活動を企画し、実施している頼もしい存在だとしみじみと感じました。

また、セミナーや講座のサポートだけでなく、地域の人口減少や高齢化率など、データを調査する業務もさせていただけたことがとても印象に残っています。市民の方や地域をサポートしていくためには、その地域のことをよく知っておくことが、とても大事なことのだと感じました。このような体験は今まで中々する機会がなかったので、とても良い体験になりました。まちスポでのインターンシップで、色々な気付きを得て学びを深めることができたので、これからの自身の大学生活で活かしていきたいです。



インターン
3

たかもと あやせ
高本彩聖

富山大学 経済学部 経済学科 大学2年生
出身地: 富山県高岡市
活動期間: 2021年9月15日(水)、17日(金)、18日(土)、
20日(月)、21日(火)、29日(水)